

史料群番号 67

|       |                        |        |      |
|-------|------------------------|--------|------|
| 史料群名  | なかがわとしお<br>中川寿夫家文書     | 旧所蔵者   | 中川寿夫 |
| 探訪時住所 | 京都府熊野郡神野村甲山            |        |      |
| 現在の住所 | 京都府京丹後市久美浜町甲山          |        |      |
| 探訪年月  | 昭和25（1950）年3月          |        |      |
| 史料の年代 | 永禄9（1566）年～明治25（1892）年 | 史料の総点数 | 145点 |
| 年代の内訳 | 近世 80点/近代 32点/不明 33点   | 筆写稿本   | あり   |
| 既刊行目録 | なし                     |        |      |

収蔵にいたる経緯

探訪の際の書類には、証書類1束の寄贈を受けた旨が記されている。現在「中川寿夫家文書」の内容を見ると、その大半は証文である。おそらく、探訪されてから現在まで、史料の散逸、移動は生じていないと考えられる。

史料群の概要

探訪地の神野（かんの）村甲山（こうやま）は、久美浜湾に面し、火山灰が堆積した台地をもち、水田耕作や畑作が行われてきた。近世から明治22年まで熊野郡甲山村が存続し、その後神野村、昭和30年から久美浜町、平成16年に京丹後市となった。

永禄9年と見られる「畑地譲渡証文」をはじめとして、田畑、屋敷、山林の譲渡証文が断続的に凡そ80点ほど残っている。幕末頃から金子借用証文や「頼母子銀入用金覚」などの金銭関係の史料が増えてくる。漁業、水産業に関する史料は、ほとんど見られない。

